

開催案内

マンスリーセミナー

439 回	12/17 (火)	光コムと光時計がもたらす 精密計測の技術変革	横浜国立大学 大学院工学研究院 理工学部 物理工学 教授 洪 鋒雷 氏
<p>(内容) 超短パルスレーザーを利用した光コムの登場から 20 年近く時間が経ち、今や光コムは単なるレーザーの周波数を測る道具だけではなく、基礎物理、化学分析、宇宙物理などの研究にとってもたいへん有用な技術となっている。また、光時計に関する研究の飛躍的な発展は、光時計の測定不確かさがセシウム原子時計で制限される事態を招いた。いずれセシウム原子時計に代わってより精度の高い光時計を秒の新しい定義にする予定である。光時計は重力ポテンシャルの高精度センサーとしても応用できる。本講演では、光コムや光時計の発展の歴史を振り返り、その最先端の研究及び技術革新について述べる。</p>			
440 回	1/21 (火)	光で拓く新奇粒子加速 － レーザープラズマ粒子加速の最前線 －	大阪大学 産業科学研究所 量子ビーム物理研究部門 教授 細貝 知直 氏
<p>(内容) 膨大な資金と立地が必要とされる巨大加速器に対する小型化への要求は高く、従来高周波加速器の 1000 倍を越える～100 GV/m (ギガボルト/メートル) もの超高加速電場をレーザーとプラズマとの相互作用で励起するレーザー航跡場電子加速には高エネルギー電子加速器の飛躍的な小型化が期待されている。当初目標の GeV (ギガ電子ボルト) 級の加速や準単色ビーム発生の実証の成功により加速機構としての高いポテンシャルが既に示され、近年は卓上 X 線自由電子レーザーの実現を究極目標に掲げたレーザープラズマ加速研究プロジェクトが我が国を始め世界各国で始動している。講演ではレーザープラズマ粒子加速研究の最前線を紹介する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階
時間：午後 3 時 30 分～5 時 30 分
定員：60 名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参加料：協会賛助会員：1,500 円（1 回につき・消費税込）
一般参加：3,000 円（1 回につき・消費税込）
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）
申込先：光産業技術振興協会 開発部 村谷
TEL：(03) 5225-6431 FAX：(03) 5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp